

令和5年度

大 学 院 工 学 研 究 科
博 士 後 期 課 程 学 生 募 集 要 項
(4 月 入 学)

一 般 入 試

(外国人留学生を含む)

社 会 人 入 試



豊橋技術科学大学

お 知 ら せ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、内容を変更することがあります。変更する場合は、本学ウェブサイト
(<https://www.tut.ac.jp/exam/news.html>) に掲載します。

○入学者受入方針（アドミッションポリシー）

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、博士後期課程では、最先端の研究、技術開発の現状を学び、先端技術・科学のフロンティアを追求し、広い視野と柔軟な思考力、豊かな学識を備えた新しい時代を切り拓く研究者、高度上級技術者を育成します。そのため、本学では次のような人物を広く求めます。

本学は、次のような学生を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する高い志を持つ人
2. 技術や科学を探究する高い志を持ち、それらの学習に必要な修士相当の学力のある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く高い志を持つ人

○各専攻の入学者受入方針（アドミッションポリシー）

【機械工学専攻】

機械工学専攻では、機械工学に関する最先端の高度な専門知識と独創性豊かな研究開発能力を有し、それらを安全で快適な社会の維持・発展に役立つ機械システムとして構築できるシステムインテグレーション能力を持ち、グローバルリーダーとして活躍できる先導的研究者・高度上級技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・機械工学に関する高度な専門知識と優れた実践的能力を備え、この分野の研究に意欲的・主体的に取り組もうとする人
- ・発想力が豊かで、俯瞰的視野と論理的思考力を備え、新しい価値の創造に挑戦的に取り組み、社会の発展に貢献しようとする人
- ・国際的に通じる、高いレベルの思考力・判断力・洞察力・コミュニケーション能力の獲得に意欲的な人
- ・指導的立場になることを認識し、人間的な成長を心がけ、深い知性と高い徳性を身につけようと努力する人

【電気・電子情報工学専攻】

電気・電子情報工学専攻では、電気・電子情報工学の発展を支える材料・プロセス技術、集積電子デバイス、エネルギーシステムおよび情報通信システムなどの技術に精通し、高度な研究・開発能力およびその基礎となる豊かな学識を備えた、電気・電子情報工学分野の新しい時代を切り拓くグローバルリーダーとして活躍できる高度上級研究者・技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・材料エレクトロニクス、機能電気システム、集積電子システムおよび情報通信システムのそれぞれの分野で、高度な技術開発能力を備えたグローバルに活躍できる高度上級技術者を目指す人
- ・旺盛な好奇心をもち能動的で自覚的に課題の探究と解決に取り組み、その結果を発展させようとする意欲を持つ人
- ・自然科学の体系を系統的に理解し、それを応用して新しい技術を創造し、発展させようとする意欲を持つ人
- ・英語、国語および専門知識などを駆使したコミュニケーションの基礎能力をもち、グローバルな活動に意欲的な人

【情報・知能工学専攻】

情報・知能工学専攻では、情報・知能工学分野に関する広範囲にわたる最先端の高度な専門知識と研究開発能力、およびその基礎となる豊かな学識を備え、グローバルな視点でIT・ICTおよびその応用分野の新しい時代を切り拓くグローバルリーダーとして活躍できる高度上級研究者・技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・知的好奇心が旺盛で、幅広い教養知識とIT・ICTに関する専門的な知識を有し、この分野の最先端の研究に挑戦的に取り組もうとする人
- ・豊かな創造力・発想力を有し、新しい問題に対しても積極的に取り組み、学術的な貢献、ならびに社会に貢献しようとする人
- ・国際的に通じる、高いレベルのコミュニケーション能力の獲得に意欲的な人
- ・指導的立場になることを認識し、人間的な成長を心がけている人

【応用化学・生命工学専攻】

応用化学・生命工学専攻では、応用化学・生命科学の高度な研究・開発能力および周辺分野についての幅広い最先端の高度な学識を備え、それらを統合的・発展的に活用して技術的課題を解決でき、今後の持続的発展社会の構築に求められる先導的な技術開発や応用化学・生命科学分野での先端研究開発において活躍できるだけでなく、国際舞台で十分なコミュニケーション能力をもち、世界に対して、高いレベルの研究成果を公表・発信するとともに、グローバルリーダーとして活躍できる高度上級研究者・技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・応用化学・生命科学の先端的研究および応用研究に意欲があり修士レベルの知識を修得している人
- ・広い人間性と考え方、倫理観と社会性を有し、人類と自然との共生、公共の福祉を考慮し、応用化学・生命科学分野での最先端の高度な知識を統合的・発展的に活用して技術的課題を解決し、独創的・革新的発見や発明を目指し、国際的先進的技術者・研究者を志す人
- ・国際的に通じる、高いレベルのコミュニケーション能力の獲得に意欲的な人

【建築・都市システム学専攻】

建築・都市システム学専攻では、建築・社会基盤分野における幅広い知識と、高度な実践力を合わせ持つ指導的技術者であると同時に、新しい研究を自ら開拓・遂行することによって、グローバルリーダーとして活躍できる高度上級研究者・技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・自然環境、社会システム、地域文化など人間生活に関わる幅広い問題に関心をもち、問題の解決に貢献しようとする人
- ・建築、社会基盤分野の高度な専門的知識を有し、この分野の最先端の研究に意欲的に取り組もうとする人
- ・国際的に通じる、高いレベルのコミュニケーション能力の獲得に意欲的な人
- ・独創的な発想に富み、難しい問題に対しても創意工夫をこらして主体的、積極的に取り組もうとする人

目 次

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程一般入試学生募集要項	1
豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程社会人入試学生募集要項	7
大学院工学研究科博士後期課程への社会人学生のための教育方法の特例	11
長期履修制度特別コースについて	12
豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程入学資格審査について	13

本学所定の用紙

- ・ 入学志願票
- ・ 検定料納付証明書貼付台紙
- ・ 推薦書（社会人入試用）
- ・ 受験承諾書（社会人入試用）
- ・ 社会人特例措置希望書（社会人希望者）
- ・ 入学試験出願資格認定審査調書（該当者）
- ・ 連絡用宛名票
- ・ 出願書類送付用宛名票

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程 一般入試学生募集要項 (4月入学)

1 募集専攻及び募集人員

専攻	募集人員
機械工学専攻	8名
電気・電子情報工学専攻	7名
情報・知能工学専攻	8名
応用化学・生命工学専攻	6名
建築・都市システム学専攻	5名

備考 上記の募集人員には、社会人入試及び外国人留学生渡日前入試の募集人員を含みます。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者で修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、及び令和5年3月までに合格見込みの者で修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和5年3月までに24歳に達する者

但し、外国人留学生については、上記に加え、日本の出入国管理及び難民認定法において大学入学に支障のない在留資格を有する者とします。

(注) ア 出願を希望する者は、第1次募集は**令和4年7月7日(木)**までに、第2次募集は**令和4年11月28日(月)**までに、必ず希望指導教員と打合せを行ってください。

イ 出願資格(7)は、「大学を卒業した後、又は外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」です。

ウ 出願資格(7)及び(8)により出願する者は、13ページにより所定の手続きを行ってください。

◎問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課
☎(0532)44-6581

3 願書受付期間

第1次募集：令和4年 8月 1日(月)～令和4年 8月 4日(木)

第2次募集：令和4年12月15日(木)～令和4年12月21日(水)

いずれも17時までに本学必着のこと。

- ① 入試課へ直接持込みで出願する場合の受付時間は、9時から12時及び13時から16時までです。
- ② 郵便で出願する場合は、郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。また、願書受付期間後に到着したものは、受理できませんので注意してください。

4 出願手続

出願を希望される方は、**令和4年8月3日(水)17時までに(第2次募集は令和4年12月20日(火)17時まで)** nyushi@office.tut.ac.jp へメールでご連絡ください。
出願の方法は次のとおりです。

【ステップ1】出願希望をメール送信

↓
令和4年8月3日(水)17時までに(第2次募集は令和4年12月20日(火)17時まで)、
入試課宛に以下の情報をメールでお知らせください。
入試課宛 nyushi@office.tut.ac.jp
件名：博士後期課程(4月入学)入試 出願希望
内容：1. 博士後期課程4月入学 一般入試
2. 氏名(フリガナ)
3. 本学の希望指導教員名
※外国人留学生で、国費留学生の方はその旨お知らせください。

【ステップ2】検定料の支払い

↓
出願希望のメールをお送りいただいた方へ、入試課より検定料の支払方法をお知らせしますので、
検定料をお支払いください。

【ステップ3】出願書類提出

↓
「○. 出願書類」が願書受付期間内に到着するように提出してください。郵送で出願する場合は
簡易書留・速達で郵送してください。
○出願書類等の郵送先
〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課

【ステップ4】受験票等の受領

願書受付期間終了後に、出願者へ受験票をメールで送付します。

○出 願 書 類 等

出願は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに豊橋技術科学大学入試課へ提出してください。郵送
出願する場合は書留・速達郵便で行ってください。

ただし、出願資格(8)に該当する者の出願書類等については、別途当該志願者に通知します。

また、**中国の大学出身者**については、下記(注)7にご留意ください。

	書類の名称	提出該当者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	所定の用紙に本人が記入し、写真を貼付したもの(本学様式)。写真は、 正面上半身脱帽(縦40mm×横30mm)で出願以前3か月以内に撮影し たものを使用してください。
2	成 績 証 明 書	出願資格(7)以外 の者全員 出願資格(7)の者	出身大学が作成のうえ、厳封したもの。(修士課程及び学部に関する分) 出身大学が作成のうえ、厳封したもの。(学部に関する分)

3	修士課程修了 (見込)証明書	出願資格(7)以外 の者全員	出身大学又は在籍大学作成のもの。 ただし、2 出願資格(6)により出願する者は、大学院基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたことを証明する書類をもってこれに代えます。(見込みを含む)
4	卒業証明書	出願資格(7)の者	出身大学作成のもの。
5	修士の 学位論文等	出願資格(7)以外 の者全員	修士論文又はそれに代わる論文の内容を2,000字程度(英語の場合は500 words程度)に要約した概要を提出してください。 また、修士課程修了見込みの者は、修士論文課題と研究の進行状況を2,000字程度(英語の場合は500 words程度)に要約したものを提出してください。(様式任意、用紙はA4判縦を使用し、必ず氏名と論文題目を記載すること)
6	研究成果報告書	出願資格(7)の者	2,000字程度(英語の場合は500 words程度)に要約した報告書を提出してください。(様式任意、用紙はA4判縦を使用すること)
7	研究論文等 業績一覧表	全 員	研究論文、学会発表、技術報告、特許及び実用新案等があれば概要を作成し、研究論文等の写しを添付してください。 (一覧表は様式任意、用紙はA4判を使用し、学協会誌名・発表学会名・巻号・発表年・発表論文名・著書名・共著者名・共同発表者名等を適宜記載すること)
8	検定料納付証明書 貼付台紙	全 員	検定料30,000円(振込手数料は出願者負担) 検定料の振込が確認できるものを貼付(本学様式)。詳しくは別途送付する「検定料支払方法」でご確認ください。 ただし、 日本政府(文部科学省)国費留学生は検定料不要 です。
9	連絡用宛名票	全 員	志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入してください(本学様式)。住所欄には、出願時から入学決定時までの間に確実に必要な通信を受け取ることができる場所を記入し、出願後に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
10	国費留学生証明書	該 当 者	現在、在学中の大学で発行のもの。
11	そ の 他	外 国 人 該 当 者	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票の写し(国籍・在留資格が明示されたもの)を提出してください。 「2 出願資格(7)」により出願する者は、入学試験出願資格認定審査調書(本学様式)を提出してください。

- (注) 1 本学様式は本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>) よりダウンロードしてください。
- 2 納入された検定料は返還しません。
- 3 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- 4 一度受理した出願書類は返還しません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
- 5 出願書類を受理したときは、受験票を送付します。
- 6 障害等(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠)がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ入試課入試係まで問い合わせてください。
- 7 中国の大学を卒業または卒業見込みの者は、上記の書類に加え、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询) <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp> より、以下の書類を印刷し、あわせて提出してください。いずれも証明書の言語表記は英文版のものとし、提出時点でWeb認証の有効期限が1か月以上残っていることが必要です。
- i) 中国の大学を卒業した者：学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)
- ii) 中国の大学に在学中の者：オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

5 選考方法及び期日

修士課程修了見込み者に対しては、第1次選考及び第2次選考を行います。

それ以外の者は第1次選考をもって最終選考とします。

(1) 第1次選考

入学者の選考は、学力検査（筆記試験及び口述試験）、成績証明書及び提出論文の総合判定により行います。

ア 学力検査

(ア) 筆記試験

試験科目		備考
外国語	英語	必須
	ドイツ語 フランス語 (日本語)	特定の分野にあっては、ドイツ語又はフランス語から1科目を課することがあります。 日本語を常用語としない受験者には、これに代えて日本語を課することがあります。

(イ) 口述試験

専門科目、修士論文又はそれに代わる論文等（修士課程修了見込みの者は研究概要）及び博士後期課程入学後の研究計画に関する口述試験を行います。

試験科目		備考
専門科目	志望する研究分野に関連した科目	機械工学専攻 材料力学、機械力学、精密加工学、生産加工学、トライボロジー、塑性加工学、材料プロセス工学、金属工学、材料強度学、接合加工学、システム工学、計測工学、制御工学、流体力学、熱工学、燃焼工学のうち、1科目を選択し受験してください。
		電気・電子情報工学専攻 電磁気学、電気・電子回路論、電気物性基礎論、半導体・固体電子工学、電気・電子材料工学、量子エレクトロニクス、電力・エネルギー変換工学、電気物性化学、情報伝送・ネットワーク、信号処理、電磁波・光波、計算機システムのうち、1科目を選択し受験してください。
		情報・知能工学専攻 知能情報学、アルゴリズム工学、情報教育学、ソフトウェア工学、量子生物学、計算化学、計算機システム、生体情報システム、視覚認知科学、分子情報学、音声言語処理、画像工学、データマイニング・可視化、言語メディア処理、ロボット情報学、実世界指向インタラクション、メディアデザイン、コグニティブコンピューティングのうち、1科目を選択し受験してください。
		応用化学・生命工学専攻 分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、生化学、分子生物学、生物反応工学、物質移動、反応工学、電磁気学、電気・電子回路、電子材料、建築環境、水工・水理学、衛生工学、環境工学、システム工学のうち、1科目を選択し受験してください。
		建築・都市システム学専攻 構造力学、鋼構造学、鉄筋コンクリート構造、耐震工学、構造材料、建築計画、建築史、建築環境、都市計画、土木構造、土質力学、国土計画、都市工学、水工・水理学、交通工学、衛生工学、環境工学、都市・地域経済学、環境経済学、生産管理、技術経営のうち、1科目を選択し受験してください。

イ 選考日時及び場所

日時 第1次募集：令和4年 8月26日(金)

第2次募集：令和5年 1月31日(火)

場所 豊橋技術科学大学 ※集合時間・場所の詳細については、各専攻より別途連絡があります。

ウ 第1次選考合格者発表

第1次募集：令和4年 9月9日(金) 11時

第2次募集：令和5年 2月17日(金) 11時

本学ウェブサイト（入試情報）に、合格者の受験番号を掲載するとともに、同日付けで本人にも通知します。電話等による可否の照会には、一切応じません。

(2) 第2次選考（修士課程修了見込者のみ）

選考に関する詳細については、第1次選考合格者に通知します。

（合格者の発表）

令和5年3月9日(木) 11時に、本学ウェブサイト（入試情報）に、合格者の受験番号を掲載するとともに、同日付けで本人にも通知します。電話等による可否の照会には、一切応じません。

(3) 入学手続関係書類について

第1次募集：令和4年11月中旬頃に合格者に送付します。

第2次募集：第1次選考の合格通知書と併せて合格者に送付します。

6 納入経費（予定額）

入学料 282,000円

授業料前期分 267,900円（年額535,800円）

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

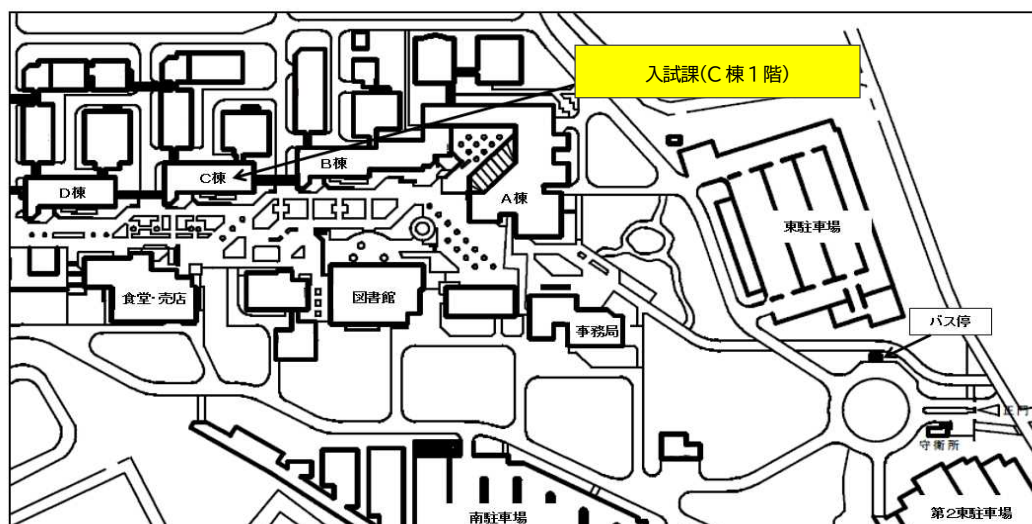
7 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ①入学者選抜、合格者の発表、入学手続及びこれらに付随する事項
- ②入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③入学者選抜方法改善のための統計データ

8 受験者心得

- 1. 受験票を必ず持参してください。万一、受験票を紛失した場合には直ちに届け出てください。
- 2. 集合時間と場所については、各専攻から連絡します。
- 3. 昼食は、本学の食堂を利用することができます。
- 4. その他、受験者への連絡は、入学志願票に記載されたメールアドレス宛に行いますので注意してください。



9 受験に関する問い合わせ

◎入学試験に関する問い合わせ先は下記のとおりです。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課
電話 (0532) 44-6581
E-Mail : nyushi@office.tut.ac.jp

10 その他

- (1) 志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、被災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験（学部・大学院）において、検定料を免除することがあります。

該当すると思われる場合は、事前に入試課までお問い合わせください。

- (2) 納入された検定料は次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。

- ① 検定料を二重に払い込んだ場合
- ② 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
- ③ 検定料を払い込んだが出願が受理されなかった場合

なお、返還手続に関する詳細は、本学から該当者へ個別に連絡します。

- (3) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人豊橋技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程 社会人入試学生募集要項 (4月入学)

1 募集専攻及び募集人員

専攻	募集人員
機械工学専攻	若干名
電気・電子情報工学専攻	若干名
情報・知能工学専攻	若干名
応用化学・生命工学専攻	若干名
建築・都市システム工学専攻	若干名

2 出願資格

社会人入試に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者で、令和5年3月末において、修士課程又は専門職課程を修了した後、企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、令和5年3月末において、修士課程又は専門職課程を修了した後、企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、令和5年3月末において、修士課程又は専門職課程を修了した後、企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者で、令和5年3月末において、修士課程又は専門職課程を修了した後、企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者で、令和5年3月末までに企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (6) 外国の学校、上記出願資格（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者で修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、及び令和5年3月までに合格見込みの者で修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる見込みの者で、令和5年3月末までに企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）で、令和5年3月末までに企業等に4年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和5年3月までに24歳に達する者のうち、企業等に4年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者

(注) ア 出願を希望する者は、第1次募集は**令和4年7月7日(木)**までに、第2次募集は**令和4年11月28日(月)**までに、必ず希望指導教員と打合せを行ってください。

イ 出願資格(7)の「文部科学大臣の指定した者」とは、「大学を卒業した後、又は外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」です。

ウ 出願資格(7)及び(8)により出願する者は、13ページにより所定の手続きを行ってください。

◎問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学入試課

☎(0532)44-6581

3 願書受付期間

第1次募集：**令和4年 8月 1日(月)～令和4年 8月 4日(木)**

第2次募集：**令和4年12月15日(木)～令和4年12月21日(水)**

いずれも**17時までに本学必着のこと。**

- ① 入試課へ直接持込みで出願する場合の受付時間は、**9時から12時及び13時から16時まで**です。
- ② 郵便で出願する場合は、郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。また、願書受付期間後に到着したものは、受理できませんので注意してください。

4 出願手続

出願を希望される方は、**令和4年8月3日(水)17時までに(第2次募集は令和4年12月20日(火)17時まで)** nyushi@office.tut.ac.jp へメールでご連絡ください。

出願の方法は次のとおりです。

【ステップ1】出願希望をメール送信

令和4年8月3日(水)17時までに(第2次募集は令和4年12月20日(火)17時まで)、入試課宛に以下の情報をメールでお知らせください。

入試課宛 nyushi@office.tut.ac.jp

件名：博士後期課程(4月入学)入試 出願希望

内容：1. 博士後期課程4月入学 社会人入試

2. 氏名(フリガナ)

3. 本学の希望指導教員名

【ステップ2】検定料の支払い

出願希望のメールをお送りいただいた方へ、入試課より検定料の支払方法をお知らせしますので、検定料をお支払いください。

【ステップ3】出願書類提出

「○. 出願書類」が願書受付期間内に到着するように提出してください。郵送で出願する場合は簡易書留・速達で郵送してください。

○出願書類等の郵送先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学入試課

【ステップ4】受験票等の受領

願書受付期間終了後に、出願者へ受験票をメールで送付します。

○出 願 書 類 等

出願は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに豊橋技術科学大学入試課へ提出してください。郵送
出願する場合は簡易書留・速達郵便で行ってください。

	書類の名称	提出該当者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	所定の用紙に本人が記入し、写真を貼付したもの（本学様式）。写真は、正面上半身脱帽（縦40 mm×横30 mm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
2	成 績 証 明 書	出願資格(7)以外の者全員 出願資格(7)の者	出身大学が作成のうえ、厳封したもの。（修士課程及び学部に関する分） 出身大学が作成のうえ、厳封したもの。（学部に関する分）
3	修 士 課 程 修 了 証 明 書	出願資格(7)以外の者全員	出身大学作成のもの。 ただし、2 出願資格（6）により出願する者は、大学院基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたことを証明する書類をもってこれに代えます。
4	卒 業 証 明 書	出願資格(7)の者	出身大学作成のもの。
5	修 士 の 学 位 論 文 等	出願資格(7)以外の者全員	修士論文又は企業等内の活動実績の内容を2,000字程度（英語の場合は500 words程度）に要約した概要を提出してください。 （様式任意、用紙はA4判縦を使用し、必ず氏名と論文題目を記載すること）
6	研 究 成 果 報 告 書	出願資格(7)の者	2,000字程度（英語の場合は500 words程度）に要約した報告書を提出してください。（様式任意、用紙はA4判縦を使用すること）
7	研 究 論 文 等 業 績 一 覧 表	全 員	研究論文、学会発表、技術報告、特許及び実用新案等があれば概要を作成し、研究論文等の写しを添付してください。 （一覧表は様式任意、用紙はA4判を使用し、学協会誌名・発表学会名・巻号・発表年・発表論文名・著書名・共著者名・共同発表者名等を適宜記載すること）
9	推 薦 書	全 員	所定の用紙に、官公庁、学校又は企業等の所属長が直接記入のうえ厳封したもの（本学様式）。
10	受 験 承 諾 書	全 員	官公庁、学校又は企業等の所属長の受験承諾書（本学様式）を提出してください。
11	検定料納付証明書貼付台紙	全 員	検定料30,000円（振込手数料は出願者負担） 検定料の振込が確認できるものを貼付（本学様式）。詳しくは別途送付する「検定料支払い方法」でご確認ください。 ただし、日本政府（文部科学省）国費留学生は検定料不要です。
13	連 絡 用 宛 名 票	全 員	志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入してください（本学様式）。住所欄には、出願時から入学決定時までの間に確実に必要な通信を受け取ることができる場所を記入し、出願後に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
14	そ の 他	該 当 者	ア 現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の交付する住民票の写し（国籍・在留資格が明示されたもの）を提出してください。 イ 教育方法の特例措置を希望する者は、特例措置希望書（本学様式）を提出してください。 ウ 「2 出願資格(7)」により出願する者は、入学試験出願資格認定審査調書（本学様式）を提出してください。

- (注) 1 本学様式は本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>) よりダウンロードしてください。
- 2 一度納入された検定料は返還しません。
- 3 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- 4 一度受理した出願書類は返還しません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。
- 5 出願書類を受理したときは、受験票及び受験者心得を送付します。
- 6 障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠）がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前にあらかじめ入試課入試係まで問い合わせてください。

5 選考方法及び期日

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び口述試験）、成績証明書、推薦書、提出論文及び研究業績の総合判定により行います。

(1) 学力検査

ア 筆記試験

試験科目		備考
外国語	英語	必須
	ドイツ語 フランス語 (日本語)	特定の分野にあつては、ドイツ語又はフランス語から1科目を課することがあります。 日本語を常用語としない受験者には、これに代えて日本語を課することがあります。

イ 口述試験

修士論文または企業等内の活動実績等及び博士後期課程入学後の研究計画に関する口述試験を行います。

(2) 選考日時及び場所

日時 第1次募集：令和4年 8月26日(金)

第2次募集：令和5年 1月31日(火)

場所 豊橋技術科学大学（集合時間・場所については、各専攻より別途連絡があります）

(3) 合格者発表

第1次募集：令和4年 9月9日(金) 11時

第2次募集：令和5年 2月17日(金) 11時

本学ウェブサイト（入試情報）に、合格者の受験番号を掲載するとともに、同日付けで本人にも通知します。電話等による可否の照会には、一切応じません。

(4) 入学手続関係書類について

第1次募集：令和4年11月中旬頃に合格者に送付します。

第2次募集：合格通知書と併せて合格者に送付します。

(5) 入学後の取扱い

入学後の企業内における身分については、当該企業の定めによるものとします。

6 納入経費（予定額）

入学料 282,000円

授業料前期分 267,900円（年額535,800円）

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

7 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ① 入学者選抜、合格者の発表、入学手続及びこれらに付随する事項
- ② 入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③ 入学者選抜方法改善のための統計データ

8 受験者心得

本募集要項5ページを参照してください。

9 受験に関する問い合わせ

◎入学試験に関する問い合わせ先は下記のとおりです。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学入試課

電話（0532）44-6581

E-Mail：nyushi@office.tut.ac.jp

10 その他

- (1) 志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、り災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験（学部・大学院）において、検定料を免除することがあります。

該当すると思われる場合は、事前に入試課入試係までお問い合わせください。

- (2) 納入された検定料は次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。

- ① 検定料を二重に払い込んだ場合
- ② 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
- ③ 検定料を払い込んだが出願が受理されなかった場合

なお、返還手続に関する詳細は、本学から別途該当者に個別に連絡します。

大学院工学研究科博士後期課程への 社会人学生のための教育方法の特例

本学では、社会人入試を実施するとともに、社会人等を対象とした各種公開講座等を開催するなどリフレッシュ教育の推進に力を注いでおり、入学後も社会人が学び易いように教育方法の特例措置を実施する体制を整えています。

1. 教育方法の特例による履修方法について

- (1) 指導教員の合意を得て、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。原則として、平日は夜間の18時00分から21時10分までの間、土曜日は8時50分から17時50分までの間が特例による授業等の実施時間帯です。
- (2) 課程修了に必要な単位のうち、講義は2単位程度、輪講は必要に応じて、適宜特例により修得することができます。
- (3) 指導教員が、学位論文の作成が計画どおり十分進展しており、かつ、勤務する企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを用いた方が成果が上がると認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。

※入学時に、指導教員の指導のもとに特例措置も含め、3年間の履修計画を作成します。

2. 教育方法の特例を希望する者の事前手続きについて

- (1) 出願前に教務課教務係 ☎(0532)44-6545で教育方法の特例の詳細について、必ず説明を受けてください。
- (2) あらかじめ指導予定教員と特例措置の実施について相談し、指導予定教員の合意を得たうえで出願するものとします。

なお、出願に際して、募集要項「4出願手続」の出願書類等に加えて、「令和5年度豊橋技術科学大学大学院工学研究科社会人特例措置希望書（本学様式）」を提出願います。

長期履修制度特別コースについて

本学では、大学院博士前期課程、博士後期課程を対象に長期履修制度を導入しています。

高等専門学校や大学を卒業し就職された社会人等で、勤務等の個別事情に配慮した長期履修計画により、修士・博士の学位と職業上必要な高度専門知識の取得ができます。

1. 長期履修制度特別コースの概要について

通常では、博士前期課程で2年、博士後期課程で3年が標準修業年限となっていますが、この特別コースでは、主に職業を有している等の理由により、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、事情に応じて標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

授業料については、修了までに標準修業年限分の授業料を納めればよいことになります。例えば博士後期課程を4年で修了したい場合、3年分の授業料総額÷4の授業料を毎年納めます。

職業を持ちながら修学している方、家事・育児・介護をしている方等の便宜を考えた一般社会人の再チャレンジに対しても柔軟に対応ができます。本学の教員の指導の下に、内容によっては企業での職務を修士・博士の研究の一部または主要な部分として認定することもできます。

2. 長期履修制度の申請資格について

新たに大学院工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）に入学を希望する者のうち次の何れかに該当し、標準修業年限内での修学が困難である者

- ・ 職業を有し就業している者（自営業、臨時雇用、非常勤等を含む）
- ・ 家事、育児、介護等の事情がある者
- ・ その他学長が必要と認めた者

3. 長期履修計画期間について

長期履修を認める期間は、博士前期課程では入学から通算して3年又は4年、博士後期課程では入学から通算して4年から6年の期間で、申請者毎の事情に応じて設定します。時間割等の履修計画については、申請者（学生本人）が指導教員及び授業担当教員等と相談の上決めます。

4. その他

- ・ 申請者は決められた期間に適切に書類を提出し、許可を受けなければなりません。
- ・ 長期履修をいったん認められた後に履修期間を変更（短縮）することもできます。
- ・ 在学中に長期履修に変更することができます。ただし、博士前期課程、博士後期課程とも標準修業年限から長期履修生になる前までの在学期間が1年以上残っている必要があります。
- ・ 条件を満たせば、授業料免除制度が利用できます。

詳細については、教務課教務係 ☎（0532）44-6545に問い合わせてください。

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程入学資格審査について

本学大学院における個別の入学資格審査については、次により行います。

1 入学資格審査の申請受付期間

第1次募集：令和4年 6月13日(月)～ 6月17日(金) (期間内必着)

第2次募集：令和4年11月 7日(月)～11月11日(金) (期間内必着)

2 申請書類

- (1) 入学試験出願資格認定審査調書(本学様式) (出願資格(7), (8)該当者)
- (2) 志望理由書(様式任意。用紙はA4判縦を使用) (出願資格(8)該当者)
- (3) 業務実績の説明書(出願資格(8)該当者)
- (4) 最終学歴の証明書(出願資格(7), (8)該当者)
- (5) 最終学歴の成績証明書(出願資格(8)該当者)
- (6) 研究生, 研究員等として従事していたことを証明する書類(出願資格(7)該当者)
- (7) その他資格・免許等を有する者はそれを証明する書類(出願資格(8)該当者)
- (8) 初等教育機関への入学から高等教育機関修了までの学歴記載の書類(様式任意。入学志願票の裏面「学歴(Educational Background)」をコピー利用も可。用紙はA4判縦を使用) (全員)

3 申請の方法

申請は、上記2の書類を簡易書留・速達郵便で送付してください。なお、郵送以外の提出は受理しません。

[申請書類の郵送先]

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課
☎(0532) 44-6583

4 入学資格の審査方法

入学資格の審査方法は、書類選考とします。ただし、書類選考では資格審査が困難な者に対しては、口頭試問を行います。この場合、該当者には、第1次募集については、令和4年6月29日(水)、第2次募集については、令和4年11月22日(火)に電話で通知します。

[口頭試問の日時・場所]

第1次募集：令和4年 7月 6日(水) 10時 豊橋技術科学大学
第2次募集：令和4年11月28日(月) 10時 豊橋技術科学大学

5 審査基準

本学大学院の履修が可能な素養を身につけていることを判断することとし、工学の専門知識・能力、工学に関連する実務経験、志望動機及び学習意欲等について、申請者から提出された書類等により総合的に審査します。

6 審査結果の通知

審査結果は、申請者に文書で、第1次募集については令和4年7月15日(金)まで、第2次募集については令和4年12月7日(水)までに簡易書留・速達郵便で通知します。電話等による審査結果の照会には、一切応じません。

7 本件問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課
☎ (0532) 44-6583
E-Mail : nyushi@office.tut.ac.jp

1. Admission Policy for Toyohashi University of Technology

The mission of Toyohashi University of Technology (TUT) is to provide technological education in addition to quality research with the aim of furthering innovation in the science and technological fields. Based on this mission, our Doctoral Program endeavors to foster advanced-level, senior engineers and researchers who will acquire cutting-edge research techniques and be well versed in the latest technological developments. These pioneers with broad views, flexible minds and profound knowledge will undertake groundbreaking research that leads the next generation of technological advances. We also value social diversity and embrace active collaboration with the local community. Through these efforts, we aim to establish ourselves as a top-class engineering university that is open to the world.

TUT extensively recruits the following types of applicants:

1. Applicants who care highly for humanity and the environment, and strive to make contributions to both local communities and the global community as a whole
2. Applicants who strive highly to acquire expertise in technology and science, and possess a master's level or the equivalent academic abilities necessary for that study
3. Applicants with a capacity for independent study, thinking and action as well as the desire to open new horizons in technology and science

Admission Policies for Doctoral Programs

I. Mechanical Engineering

The Doctoral Program in Mechanical Engineering aims to nurture advanced researchers and senior engineers to play an active international role as leaders in their chosen area of engineering. We expect our graduates to acquire cutting-edge research techniques and be well versed in the latest technological developments in mechanical engineering for the development of a sustainable society. The program seeks the following types of applicants:

- Applicants with advanced knowledge and excellent practical ability in mechanical engineering and a desire to be a pioneer in this field of research
- Applicants with the willingness to meet the challenge of contributing to solutions to new global problems and societal development with a positive attitude and novel approach
- Applicants with a desire to improve their ability to think, judge, see and communicate so as to be effective on an international stage
- Applicants with a desire to develop their abilities as human beings, and strive to acquire a deep intellect with moral integrity to become leaders of the future

II. Electrical and Electronic Information Engineering

The Doctoral Program in Electrical and Electronic Information Engineering focuses on nurturing students to become leaders with expertise in technology and science, capable of contributing to the ICT society. The program seeks the following types of applicants:

- Applicants with highly specialized knowledge and problem solving abilities motivated to take up roles as leaders in Electrical and Electronic Information Engineering
- Applicants with the needed self-motivation to conduct research independently and the desire to enhance their leadership qualities
- Applicants with the desire to improve their communication skills in both English and Japanese in order to understand the implications of peripheral technologies related to their main field of expertise

III. Computer Science and Engineering

The Doctoral Program in Computer Science and Engineering aims to foster advanced, senior engineers and researchers who have comprehensive and expert knowledge in Computer Science and Engineering, who are practical and creative in pursuing advanced technological development and design related to both basic and advanced technologies and have active global leadership skills as well as being able to contribute to the sustainable development of society. The program seeks the following types of applicants:

- Applicants who are well-motivated to autonomously pursue the acquisition of specialized knowledge and ability in the technical fields based on information technologies, and can carry out research sustainably, creatively and inquisitively
- Applicants who can actively make use of leadership skills in planning, designing, installing and maintaining large-scale integrated information systems by utilizing advanced information technologies acquired through study in the leading information engineering fields that include applied IT / ICT technologies
- Applicants who emphasize harmony between people, the environment and machines, possess language and communication skills, and the ability to judge things from a global perspective both at home and abroad

IV. Applied Chemistry and Life Science

The Doctoral Program in Applied Chemistry and Life Science offers rich educational curricula, focusing on applied chemistry and life science, to nurture graduates with outstanding scientific capability and research skills who will be recognized as leading scientists capable of playing an active role in developing the pioneering technology necessary to construct a sustainable society, and also conduct pioneering research in the fields of applied chemistry and life science to solve technological issues by integrating and applying high-level, cutting-edge knowledge. Furthermore, our department aims to nurture graduates capable publishing or presenting high-level research results accessible to the world, utilizing internationally recognized global communication skills. The program seeks the following types of applicants:

- Applicants with a strong desire to be involved in pioneering and applied research in the fields of applied chemistry and life science who have a strong background of knowledge at the master's course level
- Applicants with a clear aim to be involved in innovative research and pioneering work in applied chemistry and life science, and to become an internationally leading engineer or scientist with a deep respect for humanity, critical thinking skills, who are ethically and socially focused and can solve technological issues by integrating and applying high-level, cutting-edge knowledge
- Applicants with a strong will to acquire internationally recognized communication skills
- Applicants with a desire to contribute to society through innovative research as a leading engineer or scientist

V. Architecture and Civil Engineering

The Doctoral Program in Architecture and Civil Engineering aims to foster leading engineers with extensive knowledge and excellent practical abilities for architecture and civil engineering, and advanced-level, senior engineers and researchers who can accomplish pioneering technological research as world-wide leaders.

The program seeks the following types of applicants:

- Applicants with a strong interest in a wide range of issues related to the natural environment, social systems, culture and human life, and the motivation to contribute to problem solving related to these issues
- Applicants with advanced expertise in architecture and civil engineering, and a desire to earnestly conduct state-of-the-art research in these areas
- Applicants with a desire to positively achieve a higher-level, global communication ability
- Applicants with creative ideas and the ability to actively contribute to the search for solutions to difficult problems through one's own originality and ingenuity

**THE GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING
TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY
INFORMATION FOR JAPANESE & INTERNATIONAL STUDENTS
ABOUT
ADMISSION TO THE UNIVERSITY'S DOCTORAL PROGRAM
FOR THE ACADEMIC YEAR COMMENCING APRIL 2023**

1 Numbers of students to be enrolled

Major	Numbers of students
Mechanical Engineering	8 students
Electrical and Electronic Information Engineering	7 students
Computer Science and Engineering	8 students
Applied Chemistry and Life Science	6 students
Architecture and Civil Engineering	5 students

2 Qualifications for Applicants

Applicants must meet one of the following requirements:

For international students, in addition, applicants must have suitable qualifications for studying in Japan as specified in the “Immigration-Control And Refugee-Recognition Act” of Japan.

- (1) Those who have acquired or are expected to acquire a master's degree or professional degree by March 2023.
- (2) Those who have obtained or are expected to obtain a qualification equivalent to a master's degree or professional degree outside Japan by March 2023.
- (3) Those who took a course by overseas correspondence education while staying in Japan, and have acquired or are expected to acquire a qualification equivalent to a master's degree or professional degree by March 2023.
- (4) Those who have obtained a qualification equivalent to a master's degree or professional degree or those who expected to obtain one by March 2023 after completing the course at his/her educational institution which has a graduate school approved by his/her country, and recognized as eligible by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (5) Those who have been conferred, or are expected to be conferred by March 2023, a degree equivalent to a Master's degree from the United Nations University which was promulgated by the General Assembly of the United Nations on December 11, 1972 and in accordance with the Agreement between Japan and the United Nations concerning the Act on Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University [1976, Resolution 72, Article 1, Item 2].
- (6) Those who have completed a course study at a school outside of Japan, in an educational institution as designated above in (4) of the requirements for eligibility, or in the United Nations University, and have passed the examination and screening equivalent to those prescribed in Article 16-2 of the Standards for Establishment of Graduate Schools and have been recognized as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder, or are expected to pass by March 2023 the above examination and screening and to be recognized as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder.
- (7) Applicants who have been approved by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. (Ministerial Announcement No. 118 by Ministry of Education in 1989)

- (8) Applicants are deemed to have qualifications equivalent to a master's degree examined by Graduate School of Toyohashi University of Technology. They must be at least 24 years old by the time of March 2023.

Note: a) Those who want to apply must contact your prospective supervisor by Thursday July 7, 2022.
(For Second Invitation, by Monday, November 28, 2022)

b) Applicants in (7) are those who, after graduating from a university in Japan or completing 16 years of school in a foreign country, have at least 2 years academic background in universities or institutions and are deemed by Toyohashi University of Technology to be qualified in the field of your study at a level adequate for applying to a doctoral course.

c) Applicants in (7) and (8) must follow the instructions prescribed on page 22.

3 Period for Acceptance of Application Documents

[First Invitation] : **Monday, August 1, 2022 to Thursday, August 4, 2022**

[Second Invitation]: **Thursday, December 15, 2022 to Wednesday, December 21, 2022**

1. Submission by hand is acceptable during: 9:00~12:00 & 13:00~16:00
2. If submission by mail, the documents must be delivered by 17:00, the last date of submission.

4 Application Procedure

Applicants must contact the Admissions Division by e-mail **by 5 p.m. on Wednesday, August 3, 2022 (Second Invitation : by 5 p.m. on Tuesday, December 20, 2022)** and follow the steps below.

【Step 1】 Send an email to the Admissions Division

Send the following information to the contact address.

Contact office: Admissions Division

E-mail: nyushi@office.tut.ac.jp

Contact deadline: **by 5 p.m. on Wednesday, August 3, 2022**

(Second Invitation : by 5 p.m. on Tuesday, December 20, 2022)

Subject line: Application for the Doctoral Program for admission in April 2023

Contents: 1. Family name, First name, Middle name

2. Name of your prospective supervisor at Toyohashi University of Technology

* If you are a Japanese Government (MEXT) Scholarship student, please let us know about that matter.

【Step 2】 Payment of application fee

Pay the application fee in accordance with the payment instructions provided by the Admissions Division.

【Step 3】 Submission of Application Documents

Submit the application documents during the application period described in this application guide.

If you submit the documents by mail, please send the package by express registered mail.

【Step 4】 Issuing and distributing examination admission ticket

After the application period, an examination admission ticket will be sent to applicants by e-mail.

Applicants in above 2 (6) will be informed from the university about necessary documents.

For Applicants graduated from Chinese universities, read "Note (7)" on page 19.

Descriptions of documents as below:

- (1) I.D. photograph (40 mm × 30 mm) (taken within the past 3 months) pasted to the prescribed form
- (2) Application Form using the prescribed form
- (3) Official transcripts of academic records of the master's program and bachelor's program issued by previous or graduating university/institution. (For applicants in above 2(7), academic records of the master's program only)
- (4) Notarized copy of a diploma for a master's degree or a letter from the applicant's supervisor indicating that he/she is expected to complete the requirements for his/ her degree by the specified date. (This is for applicants in above excluding 2(7))
Applicants who meet the eligibility profile (6) must submit the certificate of passing qualifying examinations and have the appropriate academic ability equivalent or superior to a master's degree or a professional degree. (Including the certificate of prospective passing qualifying examinations.)
- (5) Notarized copy of a diploma for a bachelor degree. (This is only for applicants in above 2 (7))
- (6) Summary of the master's thesis (either about 2,000 words in Japanese or about 500 words in English) (free form in portrait A4 paper)
Those who are expected to complete Master's program, submit the summary of his/her thesis and the progress report of research written about 2,000 words in Japanese or about 500 words in English. (This is for applicants in above excluding 2(7))
- (7) Summary of the report on progress of research (either about 2,000 words in Japanese or about 500 words in English) (free form in portrait A4 paper) (This is only for applicants in above 2 (7))
- (8) Summary and copy (if possible) of research papers, technical reports, new designs for practical use and their patents if you have them (free form in A4 paper)
- (9) Application fee: 30,000 yen
Please pay the application fee in accordance with the payment instructions provided by the Admissions Division. Regarding the payment, please note as follows:
 - 1) Be sure to paste "the certificate of acceptance of fee payment" on the sheet of Application for Admission.
 - 2) No application fee is required for those who will be Japanese Government Scholarship students in April 2023.
- (10) Self-addressed return labels:
The applicant's name and address with the postal code should be written on each label, so that the mails shall be delivered to the address where he/she can receive during the period between application and entrance. If any change of address after application, please inform us immediately.
- (11) Certificate of Japanese Government Scholarship
These can be obtained from the university where the applicant is presently enrolled. Only those studying at a Japanese university need obtain one.
- (12) A copy of the residence records issued by a local administrative office of the Japanese Government in the district where the applicant lives (Except for overseas applicants).

Note:

- (1) Documents must be written in either Japanese or English.
The application should be written either in black ink or with a black ballpoint pen.
- (2) Application fee of 30,000 yen is nonrefundable.
- (3) An incomplete application shall not be accepted by the office.
- (4) After the application has been accepted, no amendments can be made.
In case of the applicant changes his/her address, he/she should promptly notify the university of the new address.

- (5) After the application has been accepted, the admission form for the examination and the examination instructions a notification of acceptance of the application will be sent.
- (6) Those who have disabilities should contact Admissions Division before application because special consideration on the examination and study might be necessary.
- (7) For Applicants graduated from Chinese universities

If you are a graduate or an expected graduate of a university in China, please obtain the English version of the following documents by downloading it from the website for higher education qualification certificate verification by the Chinese Ministry of Education :“ 中国高等教育学历证书查询(CHSI)” (<http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>), and submit it to us together with the “Certificate of completion”. Be sure to check that there are 1 or more months left until the expiration date of the online verification at the time of its submission.

i) Graduates: Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate

(教育部学历证书电子注册备案表)

ii) Expected Graduates: Online Verification Report of Student Record

(教育部学籍在线验证报告)

5 Selection

All the applicants who have not completed their master's degrees must take the first and second selection. Other applicants will be exempt from the second selection.

(1) The first selection

Selection of applicants is decided by the applicant's written examination, oral examination, certified academic record and submitted thesis.

1) Examinations

a. Written Examination

- English (obligatory)
- German or French (only necessary in certain fields)
- Japanese (only necessary for foreign students)

b. Oral Examination

Examinees are asked about their special subjects, master's thesis (or equivalent thesis) and future study plans.

Examination Subjects	Notes
Special Subjects related to field of study	Doctoral Program for MECHANICAL ENGINEERING Choose one from the following subjects for examination. Mechanics of Materials, Machine dynamics, Precision Machining, Manufacturing Process, Tribology, Plastic Working Processes, Material processing engineering, Metallurgy, Strength of materials, Bonding Technology, System engineering, Measurement and Instrumentation, Control Engineering, Fluid Mechanics, Thermal engineering, Combustion engineering
	Doctoral Program for ELECTRICAL and ELECTRONIC INFORMATION ENGINEERING Choose one from the following subjects for examination. Electricity and Magnetism, Electric and Electronic Circuits, Fundamental Theory of Electronic Materials, Semiconductor and Solid State Electronics, Electric and Electronic Materials, Quantum Electronics, Electric Power and Energy Conversion, Electronics Chemistry, Information Transmission and Networks, Signal Processing, Electromagnetic Waves and Optics, Computer Systems
	Doctoral Program for COMPUTER SCIENCE and ENGINEERING Choose one from the following subjects for examination. Knowledge Informatics, Algorithm Engineering, Computers and Education,

Special Subjects related to field of study	Software Engineering, Quantum Biology, Computational Chemistry, Computer System, Neuroinformatics and Systems Biology, Visual Perception and Cognition, Chemoinformatics, Speech and Language Processing, Image Processing, Data Mining and Visualization, Language Media Processing, Robotics and Informatics, Real-World Oriented Interaction, Media Design, Cognitive Computing
	Doctoral Program for APPLIED CHEMISTRY and LIFE SCIENCE Choose one from the following subjects for examination. Analytical Chemistry, Inorganic Chemistry, Organic Chemistry, Physical Chemistry, Biochemistry, Molecular Biology, Bioreaction Engineering, Mass Transfer, Reaction Engineering, Electromagnetism, Electrical and Electronic Circuit, Electronic Materials, Building Environment, Hydraulic Engineering and Hydraulics, Sanitary Engineering, Environmental Engineering, and System Engineering
	Doctoral Program for ARCHITECTURE and CIVIL ENGINEERING Choose one from the following subjects for examination. Structural Mechanics, Steel Structure, Reinforced Concrete Structure, Seismic Engineering, Structural Material, Architectural Planning, Architectural History, Building Environment, Regional and Urban Planning, Civil Engineering Structure, Soil Mechanics, National and Regional Planning, Urban Engineering, Hydraulic Engineering, Transportation and Traffic Engineering, Sanitary Engineering, Environment Engineering, Urban and Regional Economics, Environmental Economics, Operations Management, Technology Management

2) Date and Place

[First Invitation] Date & Time: Friday, August 26, 2022

Place: Toyohashi University of Technology

[Second Invitation] Date & Time: Tuesday, January 31, 2023

Place: Toyohashi University of Technology

The details of the meeting time and place will be announced by the department.

3) Announcement of Admission of the first selection

[First Invitation]

The application numbers of successful applicants will be displayed on the university's website (Japanese) at 11 a.m. on **Friday, September 9, 2022.**

Notification of admission will also be mailed to all successful applicants.

No inquiry will be accepted by telephone or other means.

[Second Invitation]

The application numbers of successful applicants will be displayed on the university's website (Japanese) at 11 a.m. on **Friday, February 17, 2023.**

Notification of admission will also be mailed to all successful applicants.

No inquiry will be accepted by telephone or other means.

(2) The second selection (those who are expected to obtain their master's degrees)

The details will be provided to the applicants who passed the first selection.

Announcement of Admission

The application numbers of successful applicants will be displayed on the university's website (Japanese) at 11 a.m. on **Thursday, March 9, 2023.**

Notification of admission will also be mailed to all successful applicants.

No inquiry will be accepted by telephone or other means.

(3) About enrollment procedure documents

[First Invitation]

All successful applicants will receive enrollment procedure documents around the middle of November 2022.

[Second Invitation]

All successful applicants will receive enrollment procedure documents with notification of admission (about first selection).

6 Fees necessary upon admission (Expected revised fee)

Admission fee: 282,000 yen

Semiannual tuition fee: 267,900 yen (Annual tuition: 535,800 yen)

Note: In the case of a revision of the tuition fee, the new tuition fee will be applied from the time the revision has been made.

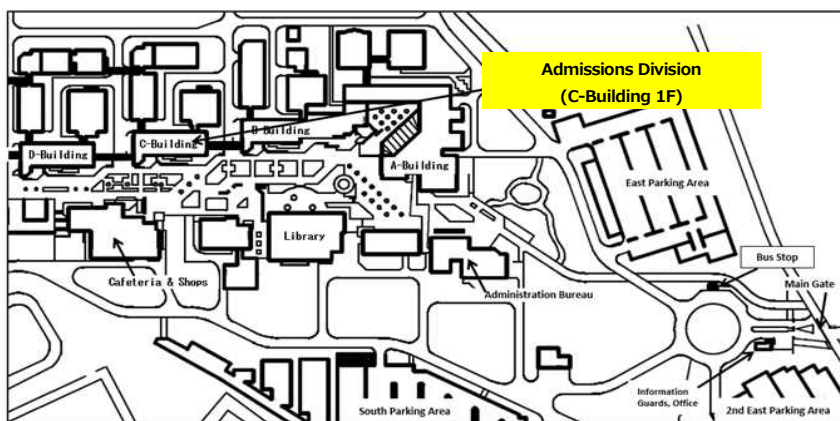
7 Handling Personal Information

The personal information described on the application documents such as address, name, date of birth, etc. will be managed appropriately, and not used except the following purpose of use.

- ① Student selection, announcement of admission, entrance procedures and accompanying matters for those.
- ② Management of register, academic record in the academic affairs after enrollment.
- ③ Statistical data for making improvement of method for the selection of entrants.

8 Advisory Note for Examinees

- (1) Bring the Examination Slip with you. In case of loss it, please notify us immediately.
- (2) Please note that other announcements for examinees will be contacted by E-mail.



9 For inquiries, please contact:

Admissions Division
Toyohashi University of Technology
Tempaku-cho, Toyohashi 441-8580, Japan
Telephone : +81-532-44-6581 E-mail : nyushi@office.tut.ac.jp

10 Others

- (1) The application fee is not refundable EXCEPT for the following cases;

- ① The applicant made a duplicate payment.
- ② The applicant made a payment but did not submit the application documents.
- ③ The applicant made a payment but the application was not accepted.

For detailed information about refund processing, applicants will be contacted by Admissions Division.

- (2) Toyohashi University of Technology has established the Toyohashi University of Technology Security Export Control Regulations in accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, and conducts strict examinations for acceptance of international students, etc.

International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

Examination of Qualifications for Admission into the Doctoral Program of Toyohashi University of Technology

The examination of qualifications for the graduate program in this university will be done as follows:

1. Period of application for examinations of qualifications

[First Invitation]

Monday, June 13, 2022 to Friday, June 17, 2022

[Second Invitation]

Monday, November 7, 2022 to Friday, November 11, 2022

2. Required documents

- (1) Document of approval being qualified to apply entrance (Exhibit 5)
(For applicant (7) and (8))
- (2) Statement of reason (free form in portrait A4 paper)(For applicant (8))
- (3) Brief explanation of work experience including job description (For applicant (8))
- (4) Notarized copy of diploma from last school attended (For applicant (7) and (8))
- (5) Official transcript from last school attended (For applicant (8))
- (6) Documents of having experiences as research student or researcher (For applicant (7))
- (7) Notarized copies of other diplomas, licenses and qualifications the applicant possesses
(For applicant (8))
- (8) Document to understand academic background (from the elementary to the higher education)
(free form in portrait A4 paper. The copy use is acceptable the back of Application Form.) (all members)

3. Procedure

All the documents mentioned in 2 must be submitted by registered and express mail to the following address:

Admissions Division

Toyohashi University of Technology

Tempaku-cho, Toyohashi, 441-8580, Japan

Note: Only those sent by mail will be accepted.

4. Examination of entrance qualifications

The university will determine whether an applicant is qualified to apply to a doctoral program solely on the basis of the submitted documents.

If a decision cannot be made on the basis of the submitted documents, the applicant will be required to present him/herself for an oral examination.

The applicant will be informed by telephone on Wednesday, June 29, 2022 (for Second Invitation, on Wednesday, November 22, 2022).

[Place and time for oral examination]

First Invitation: at Toyohashi University of Technology

10:00 AM, Wednesday, July 6, 2022

Second Invitation: at Toyohashi University of Technology

10:00 AM, Monday, November 28, 2022

5. Evaluation criterion

The evaluation is to certify that the applicant has the required knowledge and ability to attend a doctoral program at this university. Specific knowledge and abilities in engineering, practical engineering experiences, reasons for applying, motivation, and others will be determined from the documents sent by the applicant.

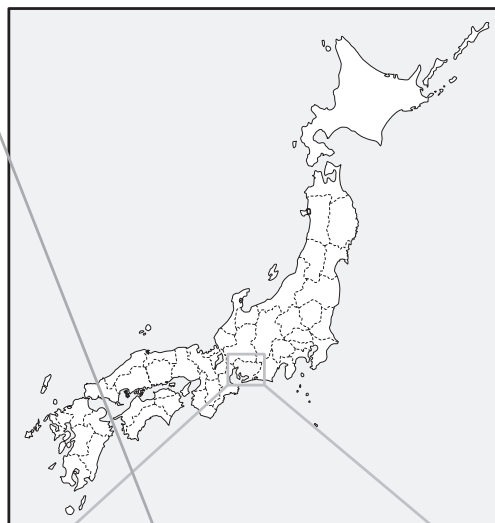
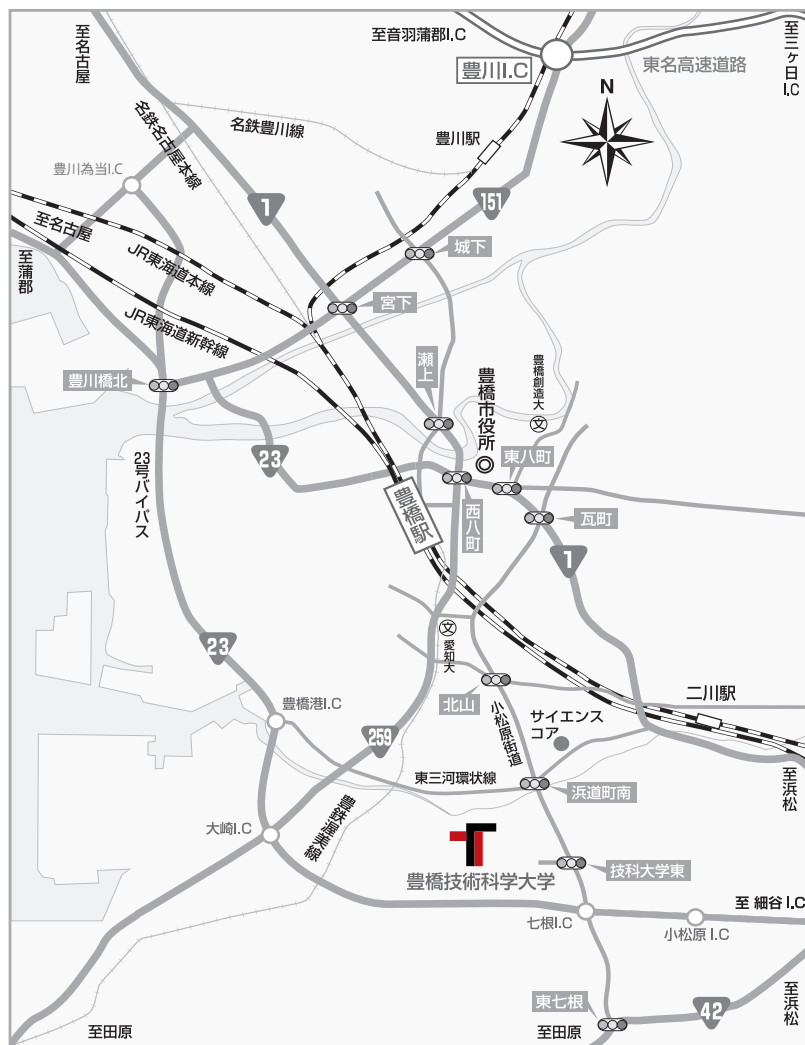
6. Announcement of result

The results will be mailed by registered and express mail to the applicant on Friday, July 15, 2022 (for Second Invitation, on Wednesday, December 7, 2022). Telephone inquiries will not be accepted.

7. Further information

Please contact to: Admissions Division, Toyohashi University of Technology
Tempaku-cho, Toyohashi, 441-8580, Japan
Telephone : +81-532-44-6583
E-mail : nyushi@office.tut.ac.jp

国立大学法人 豊橋技術科学大学交通案内



豊橋駅まで

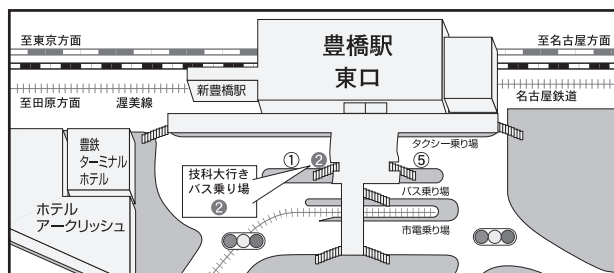
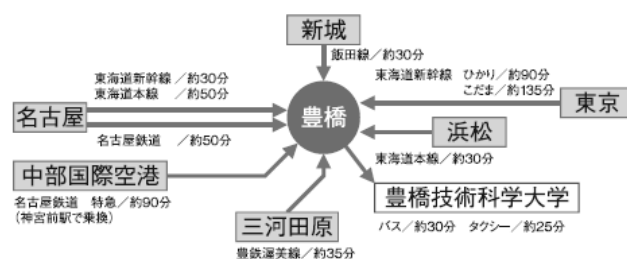
- 東海道新幹線 名古屋駅から豊橋駅まで約30分
東京駅から豊橋駅まで「ひかり」で約90分
「こだま」で約135分
- 東海道本線 名古屋駅から豊橋駅まで新快速で約50分
浜松駅から豊橋駅まで約30分
- 名古屋鉄道 名鉄名古屋駅から豊橋駅まで特急で約50分
中部国際空港駅から豊橋駅まで
特急で約90分（神宮前駅で乗換）

豊橋駅より

- バス 豊橋駅東口2番のりばから
豊鉄バス豊橋技科大線に乗り
『技科大前』で下車 所要時間約30分
- タクシー 豊橋駅前から南へ8.2km 約25分
（豊橋駅～技科大 約3,000円）

自家用車にて

- 東名高速道路 音羽蒲郡I.C.または豊川I.C.から約1時間



お問い合わせ先

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課

TEL : 0532-44-6581

FAX : 0532-44-6582

E-mail: nyushi@office.tut.ac.jp

URL: <https://www.tut.ac.jp/>